2　地理歴史・公民

学校番号	４１７

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新選「世界史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次の地理で学習した地誌的な視点を基礎に、歴史という時間軸を交えて学習を進める。
・事実だけを学習するのでなく、歴史的事象がどうして起こったのかを考えていく。また、現代の課題にどうつながるのかを考えてみる。
・世界の国々を大きな視点で捉え、日本の歴史と重ね合わせながら学習を進める。

2　学習の到達目標

・世界のさまざまな文化・宗教・政治体制などがどのようにして成り立っていったのかということを掴むために必要な基礎的知識（常識的知識）を身につけさせる。
・世界の諸地域の現在を考えるときに、歴史的背景をつねに頭に浮かべられる力を身につける。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、日本の良いところ、他国に学ぶべきところなどを考える力を身につける。国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する姿勢を持っている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察できる。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期考査(論述問題) レポート課題 学習の振り返り	定期テスト(史資料の読み取り) 学習の振り返り	定期テスト
	配布プリントの中に、生徒個々人が記入する場所を設け、その活用状況を見る。	授業で学んだことを、定期考査やレポートなどで的確に表現できているかを見る。	定期考査やレポートなどで写真や図表、史資料などから情報を正しく読み取っているかを見る。	

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	諸地域世界の交流と再編	・内陸アジア世界と諸地域世界	○			○	a:宋やモンゴル帝国への関心を高め、それぞれの諸制度や周辺地域との関わりについて意欲的に調べ、東アジア世界やユーラシア諸地域に与えた影響について考察を深めようとしている。	配布プリント 定期考査
			○	○	○	○	b:宋やモンゴル帝国成立の経緯や東アジア世界に与えた影響について歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。モンゴル帝国の成立によりユーラシア大陸の東西の交流が進んだことをふまえて、帝国解体後の諸地域の変化について歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
			○	○	○	○	d:宋やモンゴル帝国の制度や周辺諸国との関係について理解し、その知識を身に付けている。モンゴル帝国の成立によるユーラシア大陸の東西交流の進展および、帝国解体後の諸地域の変化について理解し、その知識を身に付けている。	
1学期	諸地域世界の結合と変容	・アジア諸地域世界の繁栄と成熟	○			○	a:アジア諸地域、イスラーム世界への関心を高め、諸王朝の政治や経済について意欲的に調べ、それぞれの歴史的背景や社会の特質についての考察を深めようとしている。	配布プリント 定期考査 レポート
			○	○	○	○	b:各諸王朝の政治や経済、社会、文化、外交政策の特徴について、周辺諸国との関係をふまえて歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	

			○	○	○	○	d:アジア諸地域、イスラーム世界について理解し、その知識を身に付けている。	
		・ヨーロッパの拡大と大西洋世界	○			○	a:大航海時代やルネサンス、宗教改革、近代主権国家への関心を高め，その背景，推移，影響について意欲的に調べ，大航海時代やルネサンス、宗教改革が世界の歴史に与えた影響を追究しようとしている。	
			○	○	○	○	b:大航海時代やルネサンス、宗教改革がはじまった背景をふまえて、各国の動向やその後の世界への影響について，歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。絶対王政と主権国家の関係について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
			○	○	○	○	d:大航海時代やルネサンス、宗教改革の背景，推移，影響について理解し，その知識を身に付けている。絶対王政と主権国家について理解し，その知識を身に付けている。	
2学期		・産業社会と国民国家の形成	○			○	a: 産業革命、国民国家への関心を高め、背景、経緯、影響について意欲的に調べ、世界の歴史に与えた影響について，現代との関連を見出そうとする視点から追究しようとしている。	配布プリント 定期考査 レポート
			○	○	○	○	b: 各国の動きや周辺諸国への影響に歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。。	
			○	○	○	○	c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
			○	○	○	○	d:産業革命、国民国家の形成について理解し，その知識を身に付けている。	
		・世界市場の形成とアジア諸国	○			○	a:ヨーロッパ諸国のアジア進出やアジア諸地域の変動への関心を高め、アジア諸地域の植民地化についての考察を深めよう	

							としている。	
			○	○	○	○	b:ヨーロッパ諸国のアジアへの進出の展開,手法について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:・17～19 世紀なかごろのアジア諸地域の歴史地図から、世界貿易とヨーロッパ諸国の植民地に関する情報を読み取り，世界経済の一体化について考える根拠としている。	
			○	○	○	○	d:ヨーロッパ諸国のアジアへの進出や植民地化について、その知識を身に付けている。	
2学期	地球世界の形成	・世界の分割	○			○	a:帝国主義への関心を高め，帝国主義の国々による世界分割について意欲的に調べ，帝国主義の国々による世界の分割と対立激化に与えた影響を追究しようとしている。	配布プリント 定期考査 レポート
			○	○	○	○	b:帝国主義の国々による世界分割が進展する中で生じた,諸国の対立や,関係の複雑化について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:19 世紀末から 20 世紀初めの歴史地図から欧米列強の世界分割を示す情報を読み取り，少数の帝国主義の国々が世界を支配する様子を示す根拠として活用している。	
			○	○	○	○	d: 帝国主義の国々による世界の分割の推移と,諸国の対立激化について理解し,その知識を身に付けている。	
		・二つの大戦	○			○	a: 第一次世界大戦や第二次世界大戦への関心を高め,大戦の展開や背景,影響について意欲的に調べ，二つの大戦を現代の世界の歴史的背景として位置づけて考察しようとしている。また,この時期に世界大戦，総力戦が起きた要因を追究しようとしている。	
			○	○	○	○	b:二つの大戦勃発の経緯，大戦の展開をふまえて,戦争が世界大戦化,総力戦化した要因や，戦後の世界に与えた影響について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している	
			○	○	○	○	c: 20 世紀前半のヨーロッパやアジアに関する歴史地図から，当時の国際関係に関	

			○	○	○	○	する情報を読み取り，二つの大戦の背景や経緯を説明する根拠として活用している。 d: ヨーロッパによる世界の分割について理解し，その知識を身に付けている。	
3学期	地球世界の形成	・戦後世界の形成と変容	○			○	a: 第二次世界大戦後の世界への関心を高め，米ソ両国による平和共存の模索や社会主義圏の多極化やベトナム戦争，西ヨーロッパや日本の復興について意欲的に調べ，それらの動きと米ソ両国の指導力の後退や南北問題の深刻化を関連付けて考察を深めようとしている。	配布プリント 定期考査
			○	○	○	○	b: 米ソ両国が核戦争を回避して平和共存を模索した経緯について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 ・社会主義圏の多極化やベトナム戦争，西ヨーロッパや日本の復興により，米ソ両国の指導力が後退した経緯について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。	
			○	○	○	○	c:第二次世界大戦後の世界に関する複数の歴史地図から，当時の国際情勢に関する情報を読み取り，米ソ冷戦やパレスティナ問題，アジア・アフリカ諸国の独立問題などについて考える根拠として活用している。様々な写真資料から，当時の国際情勢や人々の暮らし，文化に関する情報を読み取っている。	
			○	○	○	○	d: 第二次世界大戦後に形成されたアメリカを中心とする自由貿易の拡大をめざす国際秩序について理解し，その知識を身に付けている。米ソ冷戦の展開および，それがアジア諸国に与えた影響について理解し，その知識を身に付けている。	
		・21世紀の課題	○			○	a: 21 世紀の世界が抱える課題への関心を高め，現在の世界の民族紛争，日本に住む外国人などについて意欲的に調べ，共生にむけた課題の解決策を主体的に模索しようとしている。	
			○	○	○	○	b: 民族についての学習や，現在の世界の民	

			○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	族紛争，日本に住む外国人などについて調べたことをふまえて，共生への課題について歴史的に考察し，考察したことを適切に表現している。 c: さまざまな写真資料やデータから，民族紛争や日本に住む外国人の状況などを示す情報を読み取り，共生への課題を考察する根拠として活用している。 d:現在の世界の民族紛争，日本に住む外国人など，共生にむけた課題について理解し，その知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。